

登園基準

厚生労働省の「保育所における感染症ガイドライン」に沿ったHOCこどもの森保育園の登園基準についてお知らせ致します。

【発熱の場合】

登園は控えください	保護者への連絡	至急受診が必要と考えられる場合
○24時間以内に37.5℃以上の熱が出た ○24時間以内に解熱剤を使用している ○解熱後（平熱になってから）24時間経過していない ○朝から37.5℃以上の熱に加え、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良である	○37.5℃以上の発熱があり、 ・元気がなく機嫌が悪い ・咳で眠れず目覚める ・排尿回数がいつもより減っている ・食欲がなく水分が摂れない ※熱性けいれんの既往児は医師の指示に従う。	○37.5℃以上の発熱の有無に関わらず、 ・顔色が悪く苦しそうなとき ・小鼻がピクピクして呼吸が速いとき ・意識がはっきりしないとき ・頻回な嘔吐や下痢があるとき ・不機嫌でぐったりしているとき ・けいれんが起きたとき

- ・微熱が出ている場合には、安静にさせて30分程度様子を見てから再度検温します。
- ・37.5℃以上の発熱の場合は、お迎えの連絡をいたします。

【下痢の場合】

登園は控えください	保護者への連絡	至急受診が必要と考えられる場合
○24時間以内に複数回の水様便がある、食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする、下痢と同時に体温がいつもより少し高い ○朝に排尿がない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる	○食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする ○腹痛を伴う下痢がある ○水様便が複数回みられる	○元気がなく、ぐったりしているとき ○下痢のほかに、機嫌が悪い、食欲がない、発熱がある、嘔吐する、腹痛があるなどの諸症状がみられるとき ○脱水症状がみられるとき

【嘔吐の場合】

登園は控えください	保護者への連絡	至急受診が必要と考えられる場合
○24時間以内に複数回の嘔吐がある、嘔吐と同時に体温がいつもより高いなどの症状がある ○食欲がなく、水分を欲しがらない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる	○複数回の嘔吐があり、水を飲んでも吐く ○元気がなく機嫌、顔色が悪い ○吐き気が止まらない ○腹痛を伴う嘔吐がある ○下痢を伴う嘔吐がある	○嘔吐の回数が多く、顔色が悪いとき ○血液やコーヒーのカスの様なものを吐いたとき ○嘔吐のほかに、複数回の下痢、血液の混じった便、発熱、腹痛等の諸症状がみられるとき ○脱水症状と思われるとき

【咳の場合】

登園はお控えください	保護者への連絡	至急受診が必要と考えられる場合
○夜間しばしば咳のために起きる、ゼイゼイ音、ヒューヒュー音や呼吸困難がある、呼吸が速い、少し動いただけで咳が出るなどの症状がみられる	○咳があり眠れない ○ゼイゼイ音、ヒューヒュー音がある ○少し動いただけでも咳がでる ○咳とともに嘔吐が数回ある	○ゼイゼイ音、ヒューヒュー音がして苦しそうなとき ○犬の遠吠えのような咳が出るとき ○保育中に発熱し、息遣いが荒くなったとき ○顔色が悪く、ぐったりしているとき ○水分が摂れないとき ○突然咳き込み、呼吸が苦しうになったとき

【発しんの場合】

登園はお控えください	保護者に連絡し、受診が必要と考えられる場合
○発熱とともに発しんがある ○感染症による発しんが疑われ、医師より登園を控えるよう指示された ○口内炎がひどく食事や水分が摂れない ○発しんが顔面等にあり、患部を覆えない ○浸出液が多く他児への感染のおそれがある ○かゆみが強く手で患部を掻いてしまう	○発しんが時間とともに増えたとき ・かぜのような症状を伴う発熱後、いったん熱が下がったのちに再度発熱し、赤い発しんが全身に広がった（麻疹） ・微熱程度の熱が出た後に、手の平、足の裏、口の中に水疱が出た（手足口病） ※膝やおしりに発しんが出ることもある ・38℃以上の熱が3～4日続き下がった後、全身に赤い発しんが出た（突発性発しん） ・発熱と同時に発しんが出た（風しん、溶連菌感染症） ・微熱と同時に両頬にりんごのような紅斑が出た（伝染性紅斑） ・水疱状の発しんが出た（水痘） ※発熱やかゆみには個人差がある。 ※食物摂取後に発しんが出現し、その後腹痛や嘔吐などの消化器症状や息苦しさなどの呼吸器症状が出現した場合は、食物アレルギーによるアナフィラキシーの可能性があります、至急受診が必要となります。